

令和4年度認定農業者等経営力強化事業業務
公募型プロポーザルに関する質問への回答

番号	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書P 2 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要－①目的	受講完了後の受講者のゴールをどのように想定しているか。	受講する農業者が、本事業を通して優れた経営感覚や先端技術、生産技術等を習得し、次世代を担うリーダー・モデルとして本市農業を牽引していくことを想定しています。
2	仕様書P 2 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要－②対象	受講者は認定農業者の中でこういった層を想定しているか。	自らの農業経営の更なる発展を目指し、自発的に新たな技術や情報を習得する意欲のある農業者で、年齢要件は定めていませんが、主には30代～50代の層を想定しています。
3	仕様書P 2－P 3 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要－③研修内容	普通講座において、開催時間の指定はあるか。(午前・午後・夕方・夜間など)	開催時間の指定はありませんが、農繁期や農閑期を考慮し、受講する農業者が参加しやすい時間を設定してください。
4	仕様書P 2－P 3 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要－③研修内容	普通講座において、一部Web研修を取り入れることは可能か。	Webを活用して遠方の方に講師を依頼することや、受講生がリモートで講座を受講することは可能です。

番号	質問項目	質問内容	回答
5	仕様書P2-P3 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要-③研修内容	特別講座において、一部Web研修を取り入れることは可能か。	特別講座は現地視察とし、Web研修は想定していません。
6	仕様書P2-P3 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要-③研修内容	Web研修を取り入れた場合、研修に係る費用（例えばMicrosoft Teamsのライセンス費用など）の請求は可能か。	研修に必要なものであれば委託契約金額のなかで活用可能です。ただし、契約期間内の活用に限りませので、複数年に係るライセンス費用などは不可です。
7	仕様書P2-P3 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要-③研修内容	特別講座において視察先をA,Bコースで同じ施設に設定しても良いか。またその場合に、同じ日（別の時間）に設定しても良いか。	各コースの研修目的に合致していれば、両コースで同じ視察先を設定することは可能です。また、双方に生かせる内容であれば、同日同行程で設定することは可能ですが、例えば午前中はAコースの内容のみなど、一方のコースの研修が不十分になる場合は研修日を分けて設定してください。
8	仕様書P2-P3 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要-③研修内容	普通講座、Bコース（生産技術研修）において、想定している研修例があれば提示願う。（※稲作関係者に露地栽培の生産技術研修を行うなど）	肥培管理や病害虫管理など、生産管理技術を中心とした農業技術を学べる研修を想定しています。
9	仕様書P2-P3 3. 研修に係る実施内容について (1) 研修の概要-③研修内容	普通講座、Bコース（生産技術研修）において、生産技術研修はスマート農業と関連性が無くても良いか。	Bコースはスマート農業と関連性が無くても構いません。